

## (1) まちづくりの目標

保土ヶ谷駅周辺地区のまちづくりの目標を

### ホッとする保土ヶ谷

とします。居住する人も、訪ねてきた人も、この地域に来ると「ホッとする」たたずまいや雰囲気を持ち、やすらぎを感じられるまちをめざします。

具体的には、

#### ① 保土ヶ谷らしさが感じられるまち

江戸時代の保土ヶ谷宿に始まる歴史や川の流れ、丘の緑などの自然資源を大切に受け継ぎ、見晴らしの良い丘陵地の特性を生かした特色ある街並みを継承・創出した、保土ヶ谷らしさが感じられるまち。

#### ② ゆとりとにぎわいを創造するまち

ゆとりある空間の中を人々がにぎやかに行き交い、買い物や散策の楽しみを享受し、温かなふれあいのあるコミュニティの中で、地域活動や文化活動が活発に行われているまち。

#### ③ あらゆるライフステージに対応するまち

少子高齢化社会を踏まえ、子どもからお年寄りまで多世代が暮らしやすい環境が整い、価値観の多様化に伴い様々なライフスタイルを支える仕組みが整っているまち。

#### ④ 居住環境が整い、安全性の高いまち

緑や花があふれ居住環境の質が高く、防災や支え合いの仕組みが整備された安全性の高い住環境が形成されているまち。

このようなまちをめざします。

## (2) まちづくりの方針

「ホッとする保土ヶ谷」を実現するために、次の方針によりまちづくりを進めます。

- ① 保土ヶ谷らしさを継承・創造するまちづくり
  - ・保土ヶ谷らしい景観を持つ街並みを検討します。
  - ・史跡や歴史的建築物の保存を検討します。
  - ・東海道や宿場に関する情報発信を検討します。
  - ・水や緑の環境を保全・創造します。
  - ・今井川、史跡、旧道、歴史的建造物などを結ぶ散策コースをつくりま
  - す。
- ② ゆとりとにぎわいを創造するまちづくり
  - ・駅前や幹線道路・地区幹線道路では、ゆとりある空間を確保します。
  - ・駅周辺の景観を向上させるための検討を行います。
  - ・地域活動や文化活動をハード、ソフト両面から支える仕組みづくりを進めます。
- ③ あらゆるライフステージに対応するまちづくり
  - ・バリアフリーのまちづくりを進めます。
  - ・高齢者や障害者が地域で安心して暮らせるための仕組みづくりを進めます。
  - ・子育てや子どもの視点に立ったまちづくりを進めます。
- ④ 居住環境が整い、安全性の高いまちづくり
  - ・質の高い居住環境をめざして、西側の丘では戸建住宅、東側の丘では中高層住宅、低地部分では都市型住宅を誘導します。
  - ・住宅地では、緑と花があふれるまちづくりを進めます。
  - ・災害に強いまちづくりを進めます。